

卒後臨床研修センター

1. 概要

卒後臨床研修センターは設置当初、1名のセンター長、3名の副センター長および3名の専任事務職員で構成されたが、2013年度から専任事務職員3名のうち1名を専従とした。指導体制・評価体制などシステムを充実させるとともに研修医確保の広報活動も強化した。こうした努力にも関わらず、2014年度の研修医は定員を満たさなかった。

11月にはNPO法人卒後臨床研修評価機構の初めての更新審査を受けて合格し、初回は2年間だった認定期間も4年間となった。

2014年度は定員確保にさらに努めるとともに、当院での初期研修の魅力のひとつとなっている救急研修の特徴を生かしつつ業務負担を改善することを目標とする。

(センター長 杉浦 勇)

豊橋市民病院研修体制

